

「目標」

いつも、自分自身の中に、どんなに小さなことでも良いから、行動目標を持つようにしよう。

そしてある期間が過ぎたら、その目標を自分で評価してみる。

人に誉められなくてもよい。それがどんなに大変なことだったかは、そして達成した時の喜びがどれほど大きかったかは、自分がいちばんよく知っている。



(いのちの言葉 日野原 重明 より)

短夜(みじかよ)春分の日から徐々に昼の時間が長くなり、[日が延びた]と感じる頃です。夏至になると、日照時間が最も長くなるため、夜が短い、短夜になります。夏の夜を表した言葉です。この時期、日差しが照りつける日中、空を見上げる事も減りますが、逆に日の長い夕方の空を見上げる事は増えるように思います。夕焼け小焼けの童謡が辺りの防災放送から流れるのを聴きながら西を仰ぐと眩しいほどの茜空が慌ただしかった一日の終わりを感ぜさせてくれます。また今日が無事終わった事に感謝をしつつ、心穏やかに過ごしたり、上手いかなかった事に心を痛め、明日も頑張ろう！と気持ちを奮い立たせたり、少し感傷的な気持ちになったりと、夕暮れ時は不思議と、自分と向き合うことができる時間のように思います。自然の持つ力でしょうか... 私達はいつでも、こう在りたい！こうできたら素敵だろうな！など思いを込めながら、目標を持って日々を過ごしています。大げさに口に出したり、文字に書く事は無いにせよ、毎日の暮らしの中でなりたい自分に近づく為に、それぞれの方法で、努力して居るのだと思います。その想い(目標)の大きさは、時と場合により異なったり、また人それぞれの生き方によっても違いますね。幼子であってもその想いは存在していると思います。自我が芽生え、行動範囲も広がってきたこの時期、行きたい！見たい！触りたい！食べたい！ などなど... その気持ちを満たし育むために、私達も目標をしっかり持って日々子ども達に向き合っていきたいと思っています。例年に無い猛暑に体調を崩さないよう食事、水分摂取、睡眠等に配慮しながら、夏を乗り切っていきたいものです。先日の西日本豪雨災害に遭われた方々が一日も早く安心して平穏な生活が送れるようになりますよう、衷心よりお祈り申し上げます。

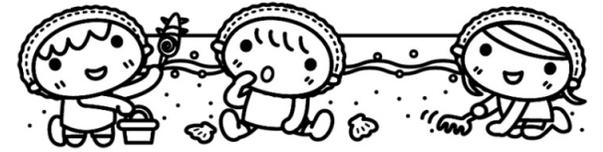


クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子 職員一同

8月聖句 安心なさい。わたしだ。 恐れることはない (マルコによる福音書 6章 50節)

8月主題 「ゆったりと」0歳

- ・神さまや家族に愛されていることを感じる。
- ・夏の生活の中で健康に過ごす。
- ・家族や保育者とゆったりとした時間を過ごす。



0歳児 mer(海組)の子どもたちの姿~



初めて迎える夏を子どもたちはひまわりのような笑顔で元気に過ごしています。沐浴や水遊びではゆらゆらと水に浮かぶ玩具を上手に掴んで遊んだり、シャボン玉を吹くと太陽の光で七色に変化しながら空へ飛んでいく様子を右に左にと目で追いかけて、パチンと消えてなくなってしまうことに少しだけ驚いていました。また、手足を動かして水しぶきを浴びては喜ぶ笑い声がとても可愛らしく暑さも忘れてしまう程です。室内では、鉄琴の音が鳴ると、つかまり立ちやずりばい、はいはいが出来るようになり、まっすぐに進んでいきます。随分手足の力強さを感じます。そして、友だちの存在も気になり、側に近づき手を伸ばしたり、模倣したりと刺激を受けながら、遊びの幅を広げています。様々な体験を通し、楽しさを共有しながら、発達を促せるようこれからも寄り添い見守ってまいります。



【8月の讃美歌】
ラララ ジョイ ジョイ
よろこびひろげよう



【8月のうた】
アイアイ
さかながはねて
おつかいありさん

	月	火	水	木	金	土	日
8月の予定表			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11 山の日	12
	13	14	15 身体測定	16	17 避難訓練	18	19
	20	21	22	23	24 誕生日会	25	26
	27	28	29	30 クレイシュ通信	31		

◎山の日に因んだ絵本などの読み聞かせなど活動を行います。
◎8月もプール活動などがあるため、爪はご家庭でごまめに切り清潔に保ちましょう。